

だいしパパさんインタビュー案

この度は、突然のお願いにもかかわらず、快くインタビューをお引き受けいただきありがとうございます。だいしパパさんにお伺いしたいこと、また、その内容をどのようにお伝えしていくかについて以下にまとめさせていただきます。長くて心苦しいのですが、ご一読いただけますと幸いです。

【お願いに至った経緯】

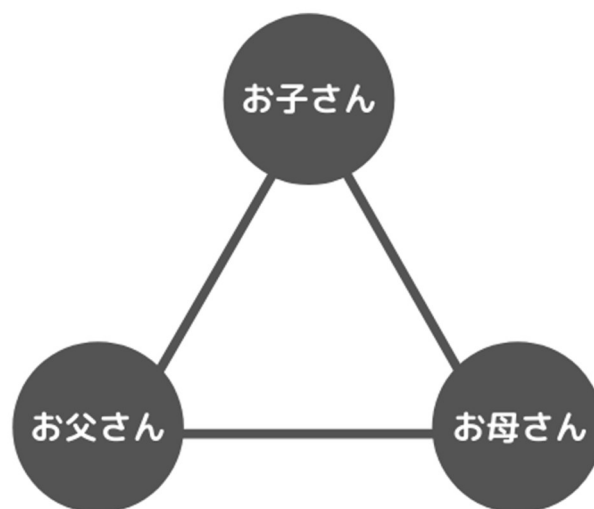
2019年から「怒らない子育て」を教える活動をしています

- 子育てでイライラしてしまうお母さんがとても多い
- 子育てでイライラしてしまうお母さんは旦那さんにもイライラしていることが多い
- 「子供のため」に変化できるお母さんは多いが、「旦那さんのため」に変化できるお母さんは少ない。

という現実を目の当たりにしてきました。

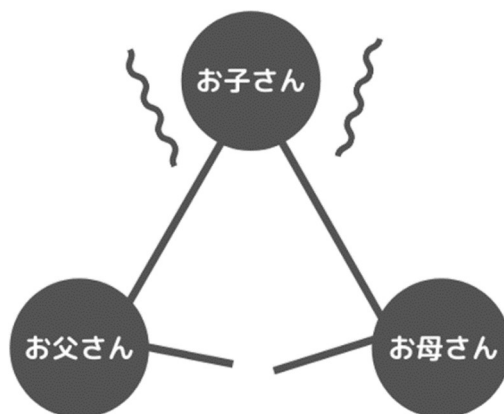
お子さんを支えていく土台はお母さんだけでは弱い。

お父さんとお母さんが手を取り合い、しっかりお子さんを支えるからこそ、お子さんがどんどん可能性を伸ばしていくことができる。(土台がしっかりしているので倒れない)

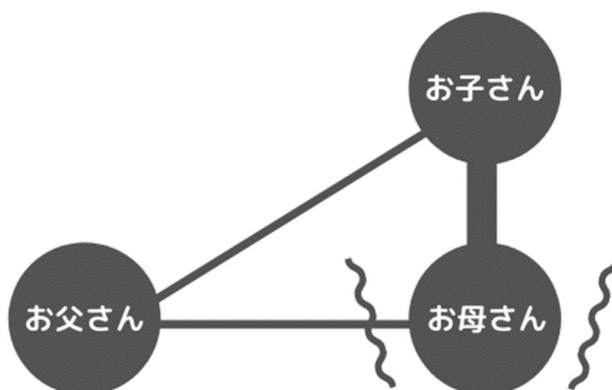


でも、現実には、お父さんとお母さんで「どちらが頑張っているか」「どちらが負担しているか」を競い合いケンカしてしまう。（お子さんに負担がかかる）

→「イクメン」という言葉にアレルギー反応を持つお母さんがいるのもこれが理由だと思っています。「私のほうがやっているのに、ちょっとやったくらいで」とお母さんが思ってしまいやすい。



あるいはお母さんだけに負担がかかりすぎてしまう。（ワンオペですね）



子供への声がけや接しかたを変えるのも大事ですが、夫婦で協力しながら子育てをしていく姿を「将来親になるであろう子供たち」に今から見せてあげること、これが本当の意味で子供の未来を考えた子育てだと私は思っています。

（イクメン、ワンオペという言葉が使われるのは私達の世代までで終わりにしたい）

お父さん・お母さん間の「へだたり」が生まれるのは、「お互いが子育てにどんな想いを持

っているかを知らないから」というのも一つの理由だと思っています。
だからこそ、主体的に子育てをされているお父さんからお話を伺うことで、「夫と協力して子育てしたいのに」と悩んでいるお母さんたちが行動するためのヒントをもらえないかと思い、お声をかけさせていただきました。

【だいしパパさんにお伺いしたいこと】

- なぜ「自分がやろう」と思えたのか。そのきっかけは？
過去の投稿を拝見していて「子育てにかかることをやる」中に「奥様への感謝」や「奥様を気にかける」など、「ご夫婦の関係」をすごく大事にされているように感じました。
「子育て」となると「子供にだけ何かをすればいい」と考えるお父さんもいる中で、なぜだいしパパさんが今の考えかたに至ったのか、お伺いしたいです。
- 一人のお父さんとして、どんなふうにお母さんが言葉をかけてくれたら「自分も頑張ろう！」と思えますか？
これは私の意見ですが、お母さん達の中には、「やって当然」と思われるのをすごく嫌がっている方が多い一方、旦那さんがやっていることは「やって当然」と思ってしまう方が多いように思います。（自戒の意味も込めて…）
だいしパパさんが奥様と過ごされていて「うちの奥さんのここが素敵！」と感じるところがあればぜひ参考にさせていただきたいです。
- 子育てを「自分がやる」と思えないお父さんには、どんな方法でアプローチしていくといいですか？
私の意見ですが
何をしたらいいか分からないから行動できない
やってみたら「そのやり方じゃダメ」とお母さんに言われてやる気をなくす
お母さんが任せてくれない
等々の行き違いがあるように思います。だいしパパさんは、どんなアプローチが効果的だと思いますか？
- 子育てに積極的に取り組みたいけれど取り組めない、そんなお父さんにどんな言葉をかけたいですか？
やりたいけれど手を挙げられない、任せてもらえないというお父さんもいるのではないかなと思っています。

【投稿の方法】

お伺いした内容は「文字投稿」にして私のフィードにアップさせていただきたいと思いません。

イメージは仮です。シリーズものとして、表紙と最後の1枚のスライド（だいしパパさんの紹介）は毎回統一しようかなと思っています。（〇のところにお写真を入れてOKでしたら入れさせていただきたいです）



あくまで私の構想ですので、10日のzoomでざっくばらんにご意見を伺えたら嬉しいです。当日はどうぞよろしく願いいたします。

お読みいただきありがとうございました。

怒らない子育て研究家
みずもと まい